

編集 後記

編集顧問 町田 豊平
編集委員 郡 健二郎

小川 秋實 秋元 成太 村井 勝
藤岡 知昭 大家 基嗣

昨年は、奥山においてドングリやブナを始めとする木の実の不作で、人里でのクマの出没のニュースが全国からあいつぎました。昔からクマと共存してきた地域では、クマたちが夜間にこっそり山郷の栗や柿を失敬するのを容認していたため、人間とクマとの間に大きな問題や争いが発生しませんでした。しかし、近年クマの生態を知らない地域では、臆病なクマを追い回すことにより「人身事故」が発生しています。また、クマの行動学を無視した行政により、餌となる「柿や栗の木」の伐採や「柿や栗の実の廃棄」という住民指導が行われた結果として、奥山から出てきたクマを住民の安全のために駆除・射殺するという方策が必要になりました。

最近、エコロジーが注目されていますが、興味ある事例として、群馬県沼田市の有志により行われている「クマ止め森林活動」を知りました。多数のコナラの植林により、奥山と人里の間にクマの餌取り場としての森林を整備することで、クマと住民との共存・安全を確保するとともに、動物の棲む豊かな森林を次世代に残すという夢のある活動です。

新緑の季節、岩手の山々は、長く厳しい雪山から恵の宝庫と変貌します。残念ながら、この季節には必ず、「クマにより山菜取りの人が襲われた」という記事が地方紙を賑わします。クマが人里に出現し、住民に危害を与える事例とは異なり、加害者のクマが駆除隊により射殺されるのはときとして不当であるというのが小生の見解です。つい最近、拙宅に届いた獺友が仕留めたクマの剥製のもと、「クマには責任がないはずなの

に」「クマにも自己防衛権はあるはず」と、焼酎のグラス片手にクマの弁護を努めて心を痛めている小生であります。

さて、特集は「男性不妊症に対するマイクロサージェリー」です。不妊症は、所属する施設によっては、馴染みのない特殊なテーマかもしれませんが、専門医としては必須の項目ですので、特に若い読者の一読をお勧めします。また、専門医を取得しておられる先生方には、不妊症における顕微鏡下各術式の進歩を実感していただければと思います。

本誌の原著として、「終末期医療」に関する論文を掲載するのは初めてのことと思います。癌基本対策法の制定・普及に伴い、このことを課題とした論文は増加するものと考えます。症例報告は6編、いずれも興味深い力作です。

さらに、今月号では、第23回欧州泌尿器科学会(EUA)と第96回日本泌尿器科学会総会の学会印象記を掲載しております。EUAはその内容の充実と規模の拡大により、今後日本からも多くの先生が参加するようになると思われます。

また、日泌総会に関しては、総会長 西村泰司先生と、事務局 木村剛先生より2つの寄稿をいただきました。特徴のある内容の濃いすばらしい総会の、開催の表の顔としての考え・方針と、裏方としての苦勞の側面の両面を感じることができのかもしれない。いずれにしても、今学会は今後の新たな総会の方向性を示された総会であったと思います。

(藤岡知昭)

臨床泌尿器科 (第62巻 第8号) (通巻742号)
2008年7月20日発行 (毎月1回20日発行)

定価 2,835 円 (本体 2,700 円+税 5%)
2008年 年ぎめ予約購読料 (増刊号を含む 13 冊)
41,360 円 (税込・送料サービス)

発行 株式会社 医学書院
代表者 金原 優

〒113-8719 東京都文京区本郷 1-28-23
電話 本誌編集室直通 (03) 3817-5709
(担当: 登・中田)
販売部直通 (03) 3817-5659・5660
ファクシミリ (03) 3815-7802

E-mail: rinpi@igaku-shoin.co.jp
振替口座 東京 00170-9-96693 番
印刷所 三報社印刷(株) 電話 (03) 3637-0005
広告申込所 (有)文京メディカル 電話 (03) 3817-8036

- ・ Published by IGAKU-SHOIN Ltd., 1-28-23 Hongo, Bunkyo-ku, Tokyo © 2008, Printed in Japan.
- ・ 本誌に掲載された著作物の複写・複製・転載・翻訳・データベースへの取り込みおよび送信 (送信可能化権を含む) に関する許諾権は医学書院が保有しています。
- ・ 医学書院ホームページ (インターネット) は Web <http://www.igaku-shoin.co.jp> です。
- ・ 「臨床泌尿器科」のページは <http://www.igaku-shoin.co.jp/mag/rinpi/> です。
- ・ JCLS < 日本著作出版権管理システム委託出版物 >

本誌の無断複写は著作権法上での例外を除き、禁じられています。複写される場合は、そのつど事前に日本著作出版権管理システム (03-3817-5670) の許諾を得てください。